

## 下妻市庁舎周辺エリアビジョン（案）に対する市民意見の募集結果について

令和6年6月20日（木）から令和6年7月19日（金）までの30日間、下妻市庁舎周辺エリアビジョン（案）に関するパブリック・コメント（意見公募）を実施したところ、18名から35件のご意見をいただきました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

つきましては、お寄せいただいた意見の概要とこれに対する市の考え方を公表いたします。

お問い合わせ

下妻市 総務部 資産経営課 資産活用係

電話 0296-43-2235（直通）

意見者	件数	意見の概要（一部修正あり）	市の考え方	修正の有無
1	1	<p>●市民文化会館、地域交流センターについて</p> <p>6月23日の説明会に参加致しましたが、文化会館の解体問題がクローズアップされ、本来のエリアビジョンのことが論点の中心にならなかったことは残念でありました。最後に（中略）これもまた残念な発言でした。市議会で解体反対を強硬したら、本案も消滅してしまうのでしょうか？とても先行きが不安です。</p> <p>私の意見と致しましては、文化会館の解体は大賛成です。半世紀も前に構想された文化遺産であり、今回反対意見を発した方々は、昔の思い出に浸りたい懐古主義が前提にあると感じました。新たな文化のスタートを切るためにも、解体し時代に合った施設等を計画すべきだと思います。</p> <p>そのためにも、若い方々の意見を聞いてみてはと思います。高校生や中学生、場合によっては小学生に聞いてもどうでしょうか？これからの下妻市を担う若者の意見は、実効性の有無を問うよりも、未来の下妻市に繋がるヒントがあると思います。聞いておいても損はないと思いますよ。</p>	<p>地域交流センターの検討については、令和10年度以降としておりましたが、文化芸術推進の観点からも基本計画において検討を進める方針に変更いたします。（p6～p8）</p> <p>また、基本計画の策定の際には、若い方々にも参画していただける仕組みを作りながら計画の検討を進めてまいります。</p>	有
	2	<p>●下妻駅周辺について</p> <p>下妻駅（駅前広場西・東も含め）のあり方については、市の玄関ともなる施設でありますので、実効性のある計画を策定し、早急に整備着手ができるよう計画の格上げをお願いいたします。</p>	<p>下妻駅周辺の計画については、本ビジョンと連携を取りながら別途検討してまいります。</p>	無
2	3	<p>●具体的な内容について</p> <p>子供たちに安く食べ物を提供する店を作る。フジパンなどに協力してもらい子供たちに安く食べさせる。明るく広い屋根付きの広場（椅子・机）を置く。</p>	<p>基本計画策定時に具体的な内容については検討してまいります。</p>	無

3	4	●その他意見		
		総合病院をたててほしい	本ビジョンとの関連性が低いため、回答は差し控えます。	無
4	5	●その他意見		
		<p>市庁舎周辺エリアビジョン（案）について下記の通り、3点意見を申し上げます。始めに、庁舎周辺エリアビジョン（案）市民説明会について、このような機会を用意して頂き感謝いたします。</p> <p>質問、意見について3点ほどお伺いします。</p> <p>第一は、下妻市の大きな状況についてです。サンビーチが廃止され、市のバスも廃止、駅通りのプラットホーム・子ども食堂も廃止、下妻公民館の独居老人などへの給食設備も廃止など様々な施設が廃止されてきましたが、将来の人口減少の中でも市庁舎は、立派に完成されました。市長が決断すればサンビーチをのぞけばこれらの事は存続できる可能性があったのではないのでしょうか。</p>	本ビジョンとの関連性が低いため、回答は差し控えます。	無
	6	●市民文化会館について	<p>第二は、下妻市民文化会館の解体方針についてです。エリアビジョン（案）17ページに解体方針の理由が人口減少など7点ほど記載されていますが、施設の老朽化は、これまでの総合基本計画に基づく計画的改修が行われてこなかったことが最大要因ではないのでしょうか。近隣地域でも、土浦、取手、常総市、最近では結城のアクロスなど改修して、多くの市民に喜ばれています。それがなぜ下妻では不可能なのでしょう。市民は、今の文化会館の現状を見て「物置になっているみたいで嫌な感じ」「苦しい財政なら建て替でなくせめて改修して存続を。あまりにももったいない。」と感じています。文化会館が無くなったら下妻は、イオン・モールのみがクローズアップされ歴史と文化の街のイメージがなくなってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>市民文化会館については公共施設マネジメント実施計画において、耐震性能が不足しており老朽化が著しいため、同じく老朽化が著しい市庁舎や下妻公民館とともに改修ではなく複合化する計画を進めておりました。</p> <p>今後においても、老朽化が著しい市民文化会館の改修は、通常の大規模改修に加え、バリアフリーや省エネなどの現在の社会的要求に応えるための改修を行うには多額の費用がかかるため、解体の方針としておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。下妻市の文化が衰退しないよう、新たな文化芸術推進基本計画の検討の他、地域交流センターなどの新たな施設整備について、基本計画において検討してまいります。</p>

それほど、文化会館の存在は大きく影響があります。令和10年以降に地域交流センターを検討するとしていますが、解体が8から9年、それでいきますと今6年ですから、もう生きていけないなど冗談とも聞き取れない程です。私たちは、下妻市文化団体連絡協議会、各コーラスグループ、下妻市伝統芸能保存連合会など12団体で最低限の改修での市民文化会館の存続などの要望書を6月19日に市長に提出しています。是非存続をお願いします。なお、隣りの下妻市総合体育館は、耐震強化改修工事を行い今では、盛んにスポーツ大会を開いています。なぜ文化会館は出来ないのか。

第三は、エリアビジョン（案）の中に下妻市民文化会館を生かすことです。市民文化会館はこれまで、文化発信の拠点として近隣地域からも多くの方が、コンサートなど楽しみに来てくれていました。リクエストコンサートなどそうです。集客力があり、名実共に存在感を示してきました。それなら解体でなく最低限の改修でその価値を活用し、コンサートなどで楽しんだ人達が、帰りにエリアビジョン（案）の中にあるカフェで賑わいをつくり、感想など談笑する有意義な、一日になるのではないのでしょうか。エリアの中で、文化会館はメインになります。まさに、エリアビジョン（案）8ページにある市街地に立地する二つの高校など下妻市の地域資源5点にすべて行き渡る下妻市最大有形の地域資源ではないのでしょうか。二つに分かれての成人式、など下妻市民文化会館が存在すれば分かれる必要など有りませんし事業の縮小など考えなくてすみます。最後に、紹介しますが坂東市民音楽ホールで、過日開催された、東京芸大生による弦楽四重奏コンサートでチケット1,000円内500円は商品券で、会場で、地元銘菓、猿島茶などの販売をしまして大賑わいで会場は満席でした。

5	7	<p>●計画の内容について</p> <p>1 全体について</p> <p>本編は、非常にわかりづらい。項目の組み立てや文章表現に問題があると思います。</p> <p>(1)項目の組み立て</p> <p>本編は「ビジョン策定の目的」に沿って、掲載順を整理すべきではないか。何よりも「4. ビジョン策定の目的」を最初に掲げて目的を明確にしたうえで、順番を整えるべきです。</p> <p>概要版は、本編の「4. ビジョン策定の目的」を「1. ビジョン策定の目的」として最初に掲げるなど、全面的な組み替えがされ改善されています。</p> <p>なお、本編と概要版の項目および項目順は一致していた方が理解しやすいです。</p> <p>例)「4. ビジョン策定の目的」(本編)、「1. ビジョン策定の目的」(概要版)</p>	<p>本ビジョン(案)は結論から先に述べる形で構成しており、概要版は要約した説明資料になりますので、ご理解ください。</p>	無
	8	<p>(2)カタカナ語が多用されており、理解しづらいので改善すべきです。専門用語などは、かっこ書きで注釈を入れるか、用語解説をすべきです。</p> <p>例)「コンテンツ」「サウンディング調査」</p>	<p>注釈等を追加します。(p37)</p>	有
	9	<p>2「1. 下妻市庁舎周辺エリアの目指す将来像(ビジョン)」(p2)について</p> <p>(1)「未来の景色をかえる場へ～こどもを育み、自己実現ができる成長のまち～」は、抽象的過ぎるのではないのでしょうか。</p>	<p>ビジョンがより具体的になるように、ビジョンの後に説明を後述しておりますので、ご理解ください。</p>	無
	10	<p>(2)「ターゲットを子育て世代の…」(p2)の「ターゲット」は「標的」(広辞苑)でもあり、市がこの文書で使用することは問題です。</p>	<p>「ターゲット」は主にマーケティング用語として使用されています。SDGsにおいても「169のターゲット」という語句で使われており、特に問題がないと考えます。</p>	無

## ●市民文化会館について

## 3「2. 文化振興について」(p5)について

(1)市民文化会館の解体方針には反対です。

「2-1 市民文化会館の現状及び方向性」(p5)の「○市民文化会館の方向性の、「近年」以下全文を削除し、「財政状況を踏まえ、安全運営に必要な改修を行ない、市民文化会館の活用をはかります。」を挿入します。

(2)市民文化会館について、「7-2 下妻市庁舎周辺エリアの課題」

(p27)では「再検討」とされているが、他では「解体する方針」と記されている。しかし、資料編「教育 文化 人と文化を育む『心豊かなまち』」(p29)の「基本施策2 生涯学習・文化・スポーツの推進」には、「3 芸術、文化、市民文化会館」の項を立て、「多くの市民が芸術・文化などの活動に親しむことができるよう、機会の充実に努めるとともに、芸術文化活動の活性化を図ります。」と記している。これは市民文化会館を活用することであって、「解体する」などとは到底読み取れません。

なお、「3 芸術、文化、市民文化会館」の記述は、第6次下妻市総合計画(前期)の現状と課題」(p96)で、「市民の音楽・芸術など多彩な文化活動の拠点として、また芸術・文化の提供の場として市民文化会館の果たす役割は大きく、有効な活用と施設の適正な維持管理に努めていく必要があります。市民が手軽に音楽を楽しめる場として、またある時には映画鑑賞会を開催するなど身近な文化施設として、文化会館は市民に親しまれています。しかし、築後40年以上が経過しているため、建物や設備の老朽化著しく、今後は計画的な改修が必要となります。」と、市民文化会館の果たす大きな役割と施設の計画的な改修の必要性を明らかにしています。

この計画にもとづき、「計画的な改修」が実施されていれば、利用できないという今日の事態に陥らなかったことは明らかです。最上位の

市民文化会館は解体の方針としております。ご意見を踏まえ、p27の記載を変更します。

第6次下妻市総合計画(後期)においては、市民文化会館の閉館や公共施設マネジメント実施計画等に基づき、総合計画(前期)p96に記載の「市民の音楽・芸術など多彩な文化活動の拠点として、また芸術・文化の提供の場として市民文化会館の果たす役割は大きく、有効な活用と施設の適正な維持管理に努めていく必要があります。市民が手軽に音楽を楽しめる場として、またある時には映画鑑賞会を開催するなど身近な文化施設として、市民文化会館は市民に親しまれています。しかし、築後40年以上が経過しているため、建物や設備の老朽化が著しく、今後は計画的な改修が必要となります。」を削除しております。

公共施設の改修については、東日本大震災以降、子どもたちが日常使用し、緊急時には避難所となる小中学校の校舎及び体育館の改修を優先的に実施してきました。その後、避難所となる総合体育館の耐震改修を行い、防災拠点として必須となる市庁舎の建替えを進めてまいりました。

市民文化会館については公共施設マネジメント実施計画において、耐震性能が不足しており老朽化が著しいため、同じく老朽化が著しい市庁舎や下妻公民館とともに改修ではなく複合化する計画を進めてまいりました。

今後においても、老朽化が著しい市民文化会館の改修は、現在の社会的要求に応えるための改修を行うには多額の費用がかかるため、解体の方針で進めてまいります。

また、他の公共施設につきましては、今後の社会情勢の変化やニーズの変化を的確にとらえ、公共施設マネジメン

	<p>計画に対する市の不作為は大きな問題であり、原点に立ち返って「計画的な改修」を行い、市民文化会館の役割を發揮すべきです。改修による長寿命化をはかれば、耐用年数を80年(2055年まで)にすることも可能といわれています。</p> <p>市民文化会館は昭和50年(1975年)に建築され、令和2年(2020年)1月に閉館されました。建築60年後の2035年が更新時期とされており(「下妻市公共施設等マネジメント実施計画」p77)、使用期間15年を残して閉館してしまったこととなります。閉館の原因としている「利用者の安全確保ができない状況」は、まともな管理を怠った市によってつくられたものです。このことに対する反省の記述は、本編のどこにもありません。これでは、ふるさと博物館(2025年大規模改修時期「同実施計画」p78)や図書館(2030年大規模改修時期「同実施計画」p78)など多くの公共施設も改修されないまま、解体に突き進んでしまうのではないかと懸念されます。正しく反省し、必要な改修を着実にを行い、公共施設の長寿命化をはかるべきです。人口減少や少子高齢化も解体の根拠にされていますが、これを金科玉条のように使うべきではありません。市庁舎は50億円超をも投じて建設されているし、本ビジョンでは、旧庁舎解体後の跡地に施設建設が想定されており、矛盾が見られます。</p>	<p>ト基本方針や毎年更新している公共施設マネジメントロードマップに基づき、計画的に進めてまいります。</p>	
12	<p>(3)「2-2 今後の文化振興について」(p6)の「2017年には文化芸術基本法が成立し…」で、市民文化会館の解体方針を正当化するかのようですが、正しい理解ではないようです。文化芸術基本法は、市民文化会館の解体ではなく、存続させて文化芸術の振興に役立てることにこそ活かすべきです。</p> <p>(4)市民文化会館を活用することは、その前段に記載の文化施設の役割に合致するものです。また、「次世代の若者が集う学びや文化活動の拠点とすることを目指しています」(p2)とも整合します。</p> <p>(5)「文化芸術推進基本計画(第2期)では、文化振興計画の策定が</p>	<p>文化芸術推進基本計画の策定については、別途検討を進めてまいります。</p> <p>公民館の今後の在り方についても、基本計画策定時に検討してまいります。</p>	無

	<p>求められています」(p6)と記載されています。「3-1 想定スケジュールについて」(p8)では、「文化振興計画検討・文化振興の推進」は令和7~9年度のスケジュールになっています。「7. 文化振興について」は、まず文化振興計画を樹立し、その計画にもとづき具体化するべきであり、順番が転倒しています。ちなみに、つくば市では令和6年3月に「つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)」が樹立されています。</p> <p>(6)「これらのことから、当面は下妻公民館や千代川公民館を文化振興の拠点としつつ」(p6)について</p> <p>①「これらのことから、市民文化会館を活用します」とすべきです。</p> <p>②公民館を文化振興の拠点とすることを否定するものではありませんが、公民館は社会教育法第22条で規定された公民館の事業を充実させる必要があります。また、同法第23条の2第1項の規定に基づき告示された「公民館の設置及び運営に関する基準では、地域の学習拠点および地域の家庭教育支援拠点としての機能の発揮がもためられており、公民館に十分な職員を配置しこれら事業にこそ力を入れるべきです。</p>		
13	<p>●内容について</p> <p>4「6. 下妻市を取り巻く状況及び下妻市の地域資源等」(p21)について</p> <p>(1)「4. ビジョン策定の目的」の「②地域資源の活用」では「庁舎周辺の地域資源」としているが、「6-2 下妻市の地域資源等」では「砂沼を中心としたまちづくり」など庁舎周辺の資源ではなく、整合していません。一致させるべきです。</p>	p9 4. ②の地域資源の活用を「下妻市には様々な地域資源が…」に変更します。	有

	14	<p>5 「7-3 課題解決のために特に着目すべき事項の整理」(p2)について</p> <p>(1)下妻市全体及び庁舎周辺エリア双方の課題を本「エリアビジョン」で解決をはかろうとしているのか、それとも庁舎周辺エリアに特化したものなのか、わかりにくい。双方に関連があるというなら、関連性を説明すべきです。ここでの「課題」は、庁舎周辺エリアのものではなく、「○下妻市の課題」(p21・22)として記載されています。</p> <p>(2)「プロジェクトで解決したい課題」に対する「課題解決のための手法」は、適切とは思えません。たとえば、「若者・女性の流出は「子育て世代の居場所づくり」が実行されたとしても、解決できるのか疑問ですし、最善の施策とは思えません。流出の原因を解明し、それに対応する施策を掲示すべきです。</p>	<p>下妻市の課題のうち、本エリアにおいて解決していききたいものを定めているものですのでご理解ください。</p> <p>本エリアビジョンにおいてすべての課題を解決できるものではなく、未来に向けて少しでも傾向を緩和できるような施策として考えておりますので、ご理解ください。</p>	無
6	15	<p>●地域交流センターについて</p> <p>8の「今後の検討事項及び想定スケジュール」によれば、市民文化会館の解体時期検討、跡地利用の検討が令和6年度から令和7年度、解体の実施(跡地活用の実施)令和9年度に完了とある。文化振興施設の集約の項では地域交流センター(集約・複合化)の検討が令和10年度以降とある。</p> <p>市民文化会館解体後の地域交流センター(集約・複合化)の検討では、遅すぎる。令和7年度・8年度内に地域交流センター(集約・複合化)建設のビジョン化を明瞭にすること、そして、令和9年度には着工されるよう要望します。また、名称としての「地域交流センター」ではなく、「<u>地域交流文化センター</u>」としてはどうでしょうか。</p>	<p>地域交流センターの検討については、令和10年度以降としておりましたが、文化芸術推進の観点からも基本計画において検討を進める方針に変更いたします。(p6～p8)</p>	有

	R5	R6	R7	R8	R9	R10
市民文化会館			解体	解体		
文化振興施設の集約			地域交流センターのビジョン化	同左	着工	完成

※以上のことを議会で可決し、公約することをお願いします。

16 ●若者の意見聴取について

下妻市庁舎周辺エリアビジョンで、「未来の景色をかえる場へ～子どもを育み、自己実現ができる成長のまち」と掲げるならば、この街に今住んでいる子どもたちの意見を積極的に聞いてほしい。  
 小学校であれば、「未来の都市下妻」をテーマに絵画を募集  
 中学校は三校それぞれに生徒会代表等を市役所会議室に集め、アイデアを出していただく。  
 高等学校は、代議員一高10名、二高10名を選出していただき、一日模擬議会を開く。

基本計画の策定の際には、若い方々にも参画していただける仕組みを作りながら計画の検討を進めてまいります。

無

7 17 ●市民文化会館・地域交流センターについて

1 地域交流センター建設について  
 市民文化会館解体の方針が市より示された。  
 文化活動の発表の場であり、芸術文化を享受する場である市民文化会館がなくなると、これに代わる施設の建設が喫緊の課題となる。  
 市は、下妻市庁舎周辺エリアビジョン（案）の7.文化振興の「今後の文化振興について」の項で、「地域交流センター等の必要性についても、検討していく必要がある」としており、8.今後のスケジュールでは、R9までに解体を終了、R10以降に、地域交流センター（集約、

「地域交流センター」のイメージ図まで作成いただきありがとうございます。地域交流センターの検討については、令和10年度以降としておりましたが、文化芸術推進の観点からも基本計画において検討を進める方針に変更いたします。（p6～p8）

有

複合化)の検討を始めるとしている。  
 しかし、文化会館解体の方針が決まった以上、すぐにでも「地域交流センター建設検討委員会(仮称)」を発足させ、建設場所の選定や施設の内容(中身)の検討を始めてもよいのではないか。  
 このスケジュールだと、センターが建設され、活用できるまでに何年かかるかわからない。センターの役割の重要性に鑑み、早急に進める必要がある。  
 大ざっぱですが、現時点で考えた「地域交流センター」の略図を添付します。

子育てサポート スペース	学生の居場所 スペース (自習室他)	国際交流サロン	3F
各種教室・講座室(生涯学習・文化活動体験) 1室にピアノ設置、和室も必要(茶道・華道) ※一隅に託児コーナー設置			
楽屋・控室・更衣室・準備室			1F
市民ホール (約500人収容)	会議室		
	応接室		
		事務所受付	

18

●第二庁舎について

2 旧第2庁舎の利活用について  
 築30年弱の建物なので、まだ十分使用に耐え得る。現在下妻公民館を使用している団体がそのまま移動して使用すればよいのではないか。  
 そうすれば、公民館が本来の目的(生涯学習、文化活動)を果たすこ

旧第二庁舎については、今年度中に方針を決定してまいります。基本計画策定においてより合理的な計画になるよう検討してまいります。

無

		とができるようになる。 いつまでも旧第2庁舎を使用しないでおくと、経年劣化を招くだけである。		
8	19	<p>●地域交流センターについて</p> <p>令和6年6月19日付「下妻市民文化会館についての要望書」を下妻市民連合会より提出致しました。その結果、文化会館は現状を総合的に勘案し、解体する方針とのことでした。その後令和10年以降に市庁舎周辺エリアに交流センターを検討するとの回答を頂きました。</p> <p>1976年に市民の念願であった市民文化会館が開設され、オーケストラの演奏や一流歌手や俳優の演出に感動し、糧となり励みとなって文化活動が活発に行われ、幼稚園児、小中高校の発表会、各クラブ活動や、老人会等と幅広く色々なイベントがあり下妻市民の誇りでした。2019年12月に閉館になり下妻の灯が一つ消えたような淋しさを感じました。盛り沢山の思い出を心から感謝いたします。</p> <p>このように親しまれた文化会館がなくなり、新たに市民のふれあいの場になる交流センターが建設されることは市民の希望であります。次世代を担う子供たちが夢と希望を抱き下妻に生まれてよかった、下妻に住んでよかった、下妻の歴史と文化を育みふれあいのある交流センターで学ぶことができるということは豊かな人生の生き方にもなってくると思います。私たちは令和10年以降と言わずに、1日でも早く新しい交流センターが開設されることを願い、要望致します。どうぞよろしくお願い致します。</p>	地域交流センターの検討については、令和10年度以降としておりましたが、文化芸術推進の観点からも基本計画において検討を進める方針に変更いたします。(p6～p8)	有
9 WEB	20	<p>●その他の意見</p> <p>ビジョンや目的については概ね理解しました。ただ目標がない。数値目標を示す事。そうしないと取り組みが良かったのかいまいちだったのか振り返りができない。人口減少、財政破綻は赤信号とまでは行かないが、黄色信号だと思う。危機感を持って人口、財政のデッドラインが何処なのかを見極め打ち手を考えると良いと思う。</p>	本ビジョン(案)に関する数値目標等については、基本計画時に数値目標を定めるか否かについても検討してまいります。	無

		<p>(中略)が市民の声をとっていたが、市民や議員の現段階でのレベルでは現状にあった意見が出にくいと思う。やはり市役所所員のベースがないと議論にすらないので今後もよろしくお願いします。市や議員、市民で人口が減っていいと思っている人はいないはずなので共に頑張りましょう！</p>		
10 WEB	21	<p>●市民文化会館・地域交流センターについて</p>		
		<p>6月25日に行われた説明会に参加いたしました。</p> <p>庁舎周辺エリアについては、市の中心部であり、将来の下妻市の重要な拠点であり、慎重な議論に基づき計画を立案する必要があると思います。近い将来想定される大規模災害に向け、市庁舎及びその周辺地域は、防災上の重要な拠点であり、非常時や緊急時におけるヘリやドローンが離発着可能で、かつ防災倉庫を有し、そして、災害支援の車両が駐屯ができる、ある程度広い土地を確保することが重要であると思います。</p> <p>それまでの間、旧庁舎や市民文化会館の跡地等の空間は、とりあえず市民広場（欧州の市庁舎のような）とし、市民の憩いの場やイベント広場として活用したほうが良いのではないかと考えられます。</p> <p>さらに、庁舎周辺エリアについては、下妻駅周辺、Waiwai ドームやサン・SUN さぬま等市街地の公共施設と連携した公共施設等活用ビジョンが有効であると思います。</p> <p>市民文化会館の解体については、建築基準法の旧耐震建築物であり、耐震補強ができる安全で安心な建物に変えることは困難な状況であると思います。舞台装置、照明設備、音響設備、空調設備、障害者対応、そして防災対応など、これまでのアナログから最新のシステム設備に変更することは、構造上厳しい課題であり、かつ補修ができたとしても膨大な費用が掛かると考えられます。また、800席の空間を有する建築物を防災補強することは、本当に可能なのか、大きな不安があり、もし公演中に災害が生じたらと考えるととても心配になります。(基礎</p>	<p>本ビジョンの達成に向け、基本計画において具体的に施設整備等を検討してまいります。また、地域交流センターの検討については、令和10年度以降としておりましたが、文化芸術推進の観点からも基本計画において検討を進める方針に変更いたします。(p6～p8)</p> <p>その際に必須事項である防災の他、現在及び将来のニーズを把握した上での施設整備を行ってまいります。</p>	有

		<p>の鉄筋、コンクリート強度、床、壁、天井のスラブ強度など耐震診断の数値以上に危険な建築物である。) さらに、修繕し開館できたとしても、後のメンテナンス等ランニングコストのことを考えた場合、財政的に非常に厳しい状況になり、他の市民サービスに大きな影響が生じることになるのではないかと不安に思います。</p> <p>今まで市民文化会館として存在し活用されてきた市民の方にとっては、大変残念な思いはあるとは思いますが、膨大な修繕費や維持管理費用等が、将来において市民の負担とならないよう住みよいまちづくりを目指すためには、やむを得ない選択肢であると思います。</p> <p>今後は、自治体としての規模、財政能力、利用状況（費用対効果）などを精査し、さらに民間活力の導入などを視野に入れ、地域交流センターの必要性を検討していただければよいのではないのでしょうか。</p> <p>旧庁舎の建設年度と10年も変わらない公共施設については、下妻公民館も含め、将来に向けた安全で安心な施設として継続可能な施設であるか、見直して行くべきと考えます。そして、子ども、子育て、高齢者、障害者すべての市民にやさしい施設であることを願います。</p>		
11 WEB	22	<p>●地域交流センターについて</p> <p>同エリアは公園部分を除いては下妻市庁舎等建設基本構想・基本計画のなかで十分に議論されたエリアで民間利用の需要がなかったと報告されたエリアと認識している。</p> <p>また、千代川庁舎の方向性も示せないままに新たな計画を先の計画と重複したエリアに持ち込むべきではなく、下妻市庁舎等建設基本構想・基本計画をしっかりと粛々と進めるべきである。</p>	<p>地域交流センターの検討については、下妻市庁舎等建設基本構想・基本計画時に検討した結果を基に検討を進めてまいります。また、検討時期についても、令和10年度以降としておりましたが、文化芸術推進の観点からも基本計画において検討を進める方針に変更いたします。(p6～p8)</p>	有
	23	<p>●市民文化会館について</p> <p>文化会館の解体に関しては改修を求める声もあるようであるが、その費用に対して延命的な意味合いが強く、ユニバーサルデザインの導入すらできない。改修による費用対効果は薄く感じるため解体には賛成であるが、中央公民館の消防機能、冷暖房機能を新設する費用をか</p>	<p>市民文化会館の解体だけが先行しているように見えてまいりますので、地域交流センターの検討については、基本計画において検討を進める方針に変更いたします。</p>	有

	<p>けてシルバー人材センター、福祉事務所の事務室としての機能を維持するのであれば同じ費用をかけて第二庁舎への移転も含めた検討をすべきではないかと考える。</p> <p>また、これも下妻市庁舎等建設基本構想・基本計画内で示された提案の一部ではなかったかと思う。</p> <p>文化会館のみ解体の議論はするべきでなく、公民館と文化会館の1対の施設として議論するべきではないかと思う。同施設の集約施設の新設の議論と並行して進めるべきであると考え。</p>		
24	<p>●計画について</p> <p>同エリアは公共業務執行に関して有益な施設が集まるエリアとし、商工会などの補助金団体のなかでも老朽化している事務所を有する団体等に計画的に移転していただき、相互情報交換が特に必要と考えられる団体が集約されるエリアになることが望ましいと考える。</p> <p>また、分散している市所有の倉庫を集約して同エリアに防災倉庫を兼ねたものを立地することで市役所執務施設が集約した効果をより発揮できるのではないかと思う。</p> <p>倉庫であれば民間に設置してもらって一定期間市が借り受ける方法など検討したらどうかと思う。3000万円程度の防災倉庫を新設するような話を聞き及んでいるが、さらに分散した倉庫を増やすのは愚策であると思う。であれば新たに集約された倉庫の新設にその予算を使ったらどうかと思う。</p> <p>フロアの一部にテナントの設置などを協議し同エリアの活性化に寄与する施設を民間の活力を利用することで期待値をあげていく手法も一考の余地があるのではないかと思う。</p>	<p>本ビジョンを基に、基本計画検討時において導入する施設等を検討してまいります。また、車庫や倉庫の整理についても、基本計画において検討してまいります。</p>	無

	25	<p>学習塾があるからその保護者も含む若い世代の行き来が多いという無理のある理由付けは方向性を誤る要因になるのもう一度数値的な裏付けを含めて精査を求めたい。</p> <p>塾に通う家庭がその周辺エリアでどの程度お金を落としているのかの数値的な裏付けも乏しいと思う。</p> <p>結論としてこの計画は破棄し、従来から進めている下妻市庁舎等建設基本構想・基本計画のなかで市全体のエリアビジョンを鑑みながら議論し進めていっていただきたい。</p>	<p>塾だけでなく、2つの高校もあるため、下妻市の中心部に広域圏から多くの人を訪れていることは、エリアの特性であると捉えています。</p> <p>本ビジョン（案）は、下妻市庁舎等建設基本構想・基本計画で取りまとめた内容も踏まえ、今後進めてまいります。</p>	無
12 WEB	26	<p>●消防署について</p> <p>エリアの特性を踏まえ防災拠点のさらなる強化から旧庁舎跡地には老朽化している消防署の建設が良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時における情報共有</li> <li>・緊急出動時における到着時間の均一化が出来る場所である</li> <li>・消防施設のシンボルとしての役割を果たせる場所</li> </ul> <p>以上の理由</p> <p>素晴らしい将来像が多数ありますが、先ず市民の生命、身体を守る施設が優先されるべきです！</p>	<p>消防署の配置については、茨城西南地方広域市町村圏事務組合において消防施設再配置計画を策定しておりますのでご理解ください。</p>	無
		<p>●小中学校について</p> <p>公共施設の床面積を減らしたいのなら、小学校や中学校を複合施設にしてくれたらいいのにと思いました。</p> <p>そうすれば、自然と世代間交流ができて、関係性を築いて、学校も地域住民も助け合えるようになるんじゃないでしょうか？</p> <p>市内全小中学校で、コミュニティ・スクールが始まり、地域とともにある学校作りが始まっています。しかし、なかなか学校は地域に開かれていません。</p> <p>この複合施設の取り組みこそが「地域とともにある学校」じゃないかと思いますがいかがでしょうか？</p>	<p>小中学校については、別途適正規模・適正配置の検討を進めております。本ビジョンとの関連性が低いいため、回答は差し控えます。</p>	無

14 WEB	28	<p>●計画について</p> <p>下妻市庁舎周辺エリアビジョン(案)の説明会に参加しましたが方向性・将来像がわかりません。</p> <p>1. ビジョン策定の目的は5項目がありますが各項目の説明がないのでわからない。</p>	<p>ビジョン策定の目的につきましては、エリアビジョン(案)9ページに記載のとおりですので、よろしくお願いたします。</p>	無
	29	<p>2. 庁舎周辺エリアについての説明ですが旧本庁舎の解体予定と記載されていますが、下妻消防署の移転、市民文化会館の解体、下妻公民館の改修と記載されていません。しかし10ページに小さく記載されていますがこの様な説明は説明会に参加人をごまかす説明と私は感じます。又、解体した後の空地の活用や基本となるビジョンも説明がない。現在、物価上昇のなか解体費と解体時期もわからない。</p>	<p>本ビジョンは庁舎周辺エリアの今後の方向性を示すもので、具体的な施設整備については次の基本計画において検討してまいります。</p>	無
	30	<p>3. 下妻市の地域資源及び課題の説明で下妻市で若年層の減少と説明がありましたが減少の原因を現在どの様に考えていますか。</p> <p>又、出生数の減少と里帰り出産等、産む環境と育てる環境はどの様になっていますか。</p>	<p>下妻市における若年層の減少はp21～p23に記載のとおりと考えております。</p> <p>子育てに関する状況等は<a href="#">第6次下妻市総合計画後期基本計画</a>や<a href="#">第2期下妻市きらきら子ども・子育て応援プラン</a>等を参照してください。</p>	無
	31	<p>4. エリアの特性及び課題以降ですが</p> <p>子育て世帯や若年層の説明はありますが高齢者や庁舎周辺以外の地域についてはどの様になっていますか。</p> <p>最後に私の考えですが現在、物価上昇の中、お金の掛かる事案は時期をずらしてその事案を市議会や市民と話し合う時間に当てて欲しい。</p>	<p>下妻市を取り巻く都市経営課題については、p21をご覧ください。また、p11のとおり、対象エリアの位置づけを行っております。高齢者については<a href="#">下妻市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画</a>、他の地域の状況については<a href="#">第6次下妻市総合計画後期基本計画</a>等を参照ください。</p> <p>現在、物価上昇等により建設費が高騰しておりますが、今後は金利上昇なども想定され、この状況が続くと見込まれます。基本計画策定時においても、市議会との調整及び市民の皆様のご意見をお伺いした上で進めてまいります。</p>	無

<p>15 WEB</p>	<p>32</p>	<p>●市民文化会館・地域交流センターについて</p> <p>エリアビジョンの思いについてはよくわかりました。</p> <p>基本計画においては、エリアビジョンの上位計画における位置づけ、市内全体及び市外など広域の視点から見た、庁舎周辺のポテンシャルなどを評価し、あるべき姿を検討していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>市民文化会館及び下妻公民館の改修が困難であることは丁寧なご説明によりよくわかりましたが、市民文化会館及び下妻公民館が閉鎖前にどのように活用されていたかを再度取りまとめていただき、当時の機能の確保並びに現在のニーズに合わせた機能の追加をした新たな施設の検討が必要だと思えます。</p> <p>多くの方の想いが詰まった本エリアの発展を市民として切に願っております。市長並びに市職員の皆様におかれましては、大変なご尽力をされていることを深く感謝申し上げます。本件、今後も関心を寄せておりますので頑張ってください！</p>	<p>基本計画においては、各種調査等を行ったうえでコンテンツ等の精査をしていきたいと考えております。</p> <p>地域交流センター等の新たな施設の検討については、基本計画時に前倒しするとともに、検討の際には、しっかりと現在及び将来にわたるニーズを把握した上でまいります。(p6～p8)</p>	<p>有</p>
<p>16 WEB</p>	<p>33</p>	<p>●市民文化会館・地域交流センターについて</p> <p>先日の説明会に参加いたしました。</p> <p>主に文化会館の今後についてのお話を中心でしたが、財政難や人口減少等これから（または既に）直面する問題について官民どちらも真摯に考えていかなければならないことを痛感しました。</p> <p>私は市民楽団に在籍しているため、文化会館の存続については大変興味を持っております。ただ、通常は千代川公民館を使用しており、文化会館は広すぎるのと利用料金が高いため使用したことがありません。そのため具体的な意見を申し上げるのは難しいのですが、もし文化会館を解体するのであれば（千代川公民館は演奏会向けのホールではないので）ぜひとも5～600人規模の中程度の音楽ホールを作っていただきたいです。今は新しい施設の建設が敬遠されがちですが、文化会館、千代川公民館はともにバリアフリーではなく、今の時代に</p>	<p>適したホールが無いということで、ご不便をおかけしております。解体の方針としている市民文化会館については、構造的にバリアフリーへの対応にも非常にコストがかかる施設になっております。</p> <p>5～600人規模のホールは、下妻市庁舎等建設基本計画時に市民の相互交流や、文化・交流等の都市活動、コミュニティ活動を支える地域活性化の中核的な拠点施設として「地域交流センター」という形で検討を進めておりました。椅子が可動式で平土間にもなり、災害時には防災拠点として活用可能な施設を想定しておりましたが現在、本計画は中断しております。</p> <p>市としても文化の重要性は理解しておりますので、地域</p>	<p>有</p>

		<p>大変遅れていると言わざるを得ません。どの世代も平等に市民が利用できる施設、そして音響に配慮された音楽施設を希望します。</p> <p>文化については経済と比べて生産性がないように思われがちですが、文化の向上はそこに住む人たち（特に子供たち）の生活や心の発達に大変重要な役割を果たしています。心の健康については言うまでもありません。その活動を支えるための環境作りを、中長期的なプランで良いのでご検討いただけたら幸いです。</p>	<p>交流センターの検討については、基本計画時に前倒しする形で検討を進める方針に変更いたします。(p6～p8)</p>	
17 WEB	34	<p>●市民文化会館について</p> <p>解体には、反対します。</p> <p>直して使えるようすることを望みます。</p> <p>長年、子どもたちに向けたイベントで、利用してきました。</p> <p>また、市内の舞踊の披露会など、見てきました。</p> <p>文化団体は、発表する場所が身近にあるからこそ、続いていきます。</p> <p>神社に奉納する神楽も、橙(舞台)があるからこそ、継承されるのと、同じだと思います。</p> <p>文化会館がなくなれば、間違いなく、下妻の文化は、衰退してしまいます。</p> <p>解体は、再考していただきたいと思います。</p>	<p>市民文化会館については公共施設マネジメント実施計画において、耐震性能が不足しており老朽化が著しいため、同じく老朽化が著しい市庁舎や下妻公民館とともに改修ではなく複合化する計画を進めておりました。</p> <p>今後においても、老朽化が著しい市民文化会館の改修は、通常の大規模改修に加え、バリアフリーや省エネなどの現在の社会的要求に応えるための改修を行うには多額の費用がかかるため、解体の方針としておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>下妻市の文化が衰退しないよう、新たな文化芸術推進基本計画の検討の他、地域交流センターなどの新たな施設整備について、基本計画において前倒して検討してまいります。(p6～p8)</p>	有
		<p>●市民文化会館・地域交流センターについて</p> <p>解体には、反対します。</p> <p>エリアビジョンの公表というよりも、文化会館解体の説明会という感じがします。エリアビジョンと文化会館の存続は、両立しうるのになぜ解体一択なのか、理由が不十分ではないでしょうか。エリアビジョンを具体化する中で、旧市役所跡地利用と文化会館の関係を検討したうえでないと、解体か、改修か、改築か、本来は結論が出ないのが、本</p>	<p>市民文化会館については公共施設マネジメント実施計画において、耐震性能が不足しており老朽化が著しいため、同じく老朽化が著しい市庁舎や下妻公民館とともに改修ではなく複合化する計画を進めておりました。</p> <p>今後においても、老朽化が著しい市民文化会館の改修は、通常の大規模改修に加え、バリアフリーや省エネなどの現</p>	有
18 WEB	35			

	<p>来の理屈ではないでしょうか。</p> <p>文化会館については、土浦市のように改修して従前にもまして活用している例があること、文化団体が存続を要望していること、市議会も解体撤回の決議を出していることなどから、改修、改築も含めて、ビジョンの具体化の中でさらに検討すべきではないでしょうか。</p> <p>文化会館について、改修か、改築かはともかく、やはり人が集って、発表する場所がないと、人に見てもらおうことを目的とする芸術事や、講演会などは、どんどん開催が減り、いずれは、下妻の文化が衰退すると思います。</p> <p>ビジョン案では、学生の居場所というのがありますが、高校生の自習室的なものを億単位のお金を使って作るべきなのか疑問があります。(図書館もあるし、一高には自習室もある)。子育て家庭が集うとあるが、子育て支援センターでは不十分なのか、公園、遊び場なのか、何を目的に集う仕組みなのか疑問。(よほどの遊び場施設でないと、継続的に親子が来るといのは、無理でしょう。子どもはすぐ飽きるのです。)</p>	<p>在の社会的要求に応えるための改修を行うには多額の費用がかかるため、解体の方針としておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>下妻市の文化が衰退しないよう、新たな文化芸術推進基本計画の検討の他、地域交流センターなどの新たな施設整備について、基本計画において前倒して検討してまいります。(p6～p8)</p> <p>子育て家庭が気軽に集える場や、学生の居場所となる場については、ビジョン達成のために必要な場ですので、基本計画において具体的な検討を進めてまいります。</p>	
--	---	--	--

※質問は持参、FAX、電子メール等の提出順とWEBでの提出順で記載しています。